

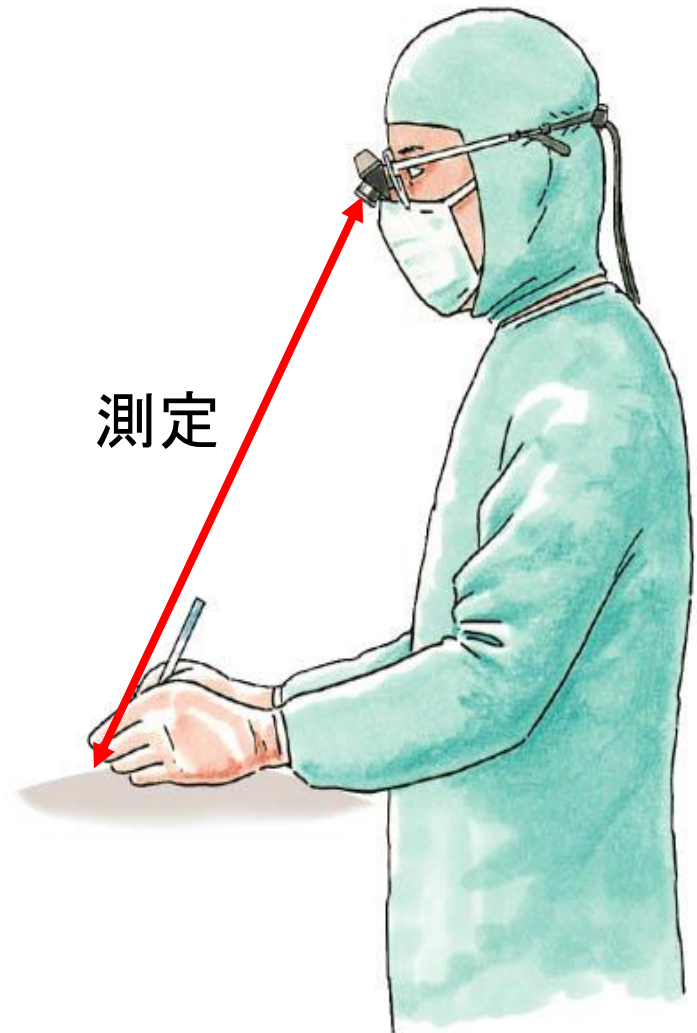
ワーキングディスタンス(WD)

術部と対物レンズ間の
距離をメジャーで測定

☆実際の手術姿勢で測定
(接眼部先端から手元まで)

【術者の手術をする状態での目安】

- 立った状態で手術をする場合
WDは・・・ 500ミリ以上。
(500～600ミリ)
- 座った状態で手術をする場合
WDは・・・ 450ミリ前後。
(400～500ミリ)
- 歯科医の座った状態で手術をする場合
基準WDは・・・ 430ミリに設定。



【作業距離(WD)】

- ① 双眼ルーペにおいては、左右の眼で見て、光軸が交わった拡大像を合わせて立体視します。
- ② “光軸交差”するより前の距離が適切な位置と言えます。
- ③ 左右の“光軸交差”した先の距離に合わせて見ると像が左右 2重に見えてしまいます。

距離と左右視野の重なり

